

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

282-790

事務事業名	施設改修事業費(図書館)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	教育委員会	課等名	図書館		包含する細々目	1	10	5	5	10	4	147	
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり												
施策	28 学習交流活動の推進												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		関連計画 条例等							
		事業期間	18	年度～		年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度 以前に終了 は終了年 度とする		
			107844		107000		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	市民に安全でやさしい読書環境の場を提供する。	貸出者数	18目標	85000	最終目標	86500	
			18実績	85787	19目標	86000	↑
			23目標	86300	23実績		最終目標 達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標 達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	中央・県・上郷の三図書館は、ともに老朽化が進み修繕箇所が続出しており、建物維持のための修繕が必要。早急に修繕が必要な場所から順次修繕を行う。	1.中央図書館の消火栓ポンプ始動用蓄電池交換 2.県図書館の書庫床改修	1.蓄電池交換 2.県図書館書庫床改修	11月13日予定 1,785,000円 10月工事完了 215,000円
	18年度の実績			
	19年度計画	1.中央図書館屋根及び柱等修繕 ・一階破風屋根 錆が発生し、継ぎ目部分が切れて浸水のため修繕 ・玄関前丸柱 錆の修繕。 2.中央図書館読書室照明器具取替え 旧式照明のため交換器具が在庫切れ。照明器具本体から交換が必要。	1.中央図書館屋根及び破風・柱修 2.中央図書館読書室照明器具取替え	147,000円

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	2,000	147
事業費計(A)	2,000	147	
人件費	正規職員所要時間	18年度 120	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	429	0
	トータルコストA+B	2,429	147

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	生涯学習の拠点施設として環境整備を行うことにより、学びの機会が得られる。	学習活動を行っている市民の割合	現状値	38	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	40
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<p>築20年以上の施設がほとんどなので老朽化が進み、設備等が磨耗し取り替えないと機能しないものから、改修をしないと図書館の運営に支障をきたす箇所などが発生してきている。</p> <p>また、高齢者や幼児や障害者等に対しバリアフリーに欠ける箇所があり、改修要望も寄せられているので、急ぐものから優先的に対応を行ってゆく。</p>	<p>建設当時の器具は磨耗し使用不能になりかけているもの、部品が製造中止で新しい設備に替えなければならないものがある。</p> <p>環境にやさしく、人に優しい建物が一般化してきている。</p>	<p>高齢者や乳幼児及び身体が障害がある方などの利用が増加してくる中で、環境と人に優しいユニバーサルデザインの施設改修を望む声が多くなってきた。</p>

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地がありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当でない (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>修繕を急ぐものから順次取り組んで行く。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	